

所属	経済学部	身分	教授
氏名	新井 洋一		
NAME	Yoichi Arai		

1. 研究課題

(和文) 複数の英語コーパス分析ツールの比較研究

(英文) A Comparative Study on Some Corpus Analysis Tools of the English Language

2. 研究期間

1 年半

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 200 字程度）

(和文)

イギリス現代英語の標準コーパスである BNC の分析には、BNCWeb, BYU-BNC, 小学館コーパスネットワークなどの Web ベースのツールが使われている。しかし、この 3 つのツールの検索結果は、一致しないことが少なくはない。また従来の Brown, LOB を始め、個人で集めたコーパスの分析には、AntConc, KWIC Concordancer, Textana などの PC ベースの分析ツールが使われている。これらのツールについても、基本的設定やその他の理由で、検索結果が異なることが見受けられる。

本研究は、既存研究で指摘されてきた問題点を再整理するとともに、新たに見つかった注意点や問題点、およびその解決法などについて可能な限り正確にまとめることを目的とした。特に、BNC については、BNC データに元々存在する Tag 付けの不備の問題点、BNCWeb, BYU-BNC, 小学館コーパスネットワークの機能比較や長短所などについて、深く掘り下げて考察した。これらの成果は、人文研究所の『人文研紀要』の論文にまとめる予定である。さらにまた、BNCWeb の効果的な利用によって新たな言語研究もおこない、その成果は、「繰り上げ主語受動態構造に関する動詞の BNC 分析」としてすでにまとめ終わっており、2013 年刊行予定の英語コーパス研究シリーズ第 4 巻（ひつじ書房）に収録される予定である。

(英文)

In order to analyze BNC, the most popular British English Corpus, we generally use Web-based online tools such as BNCWeb, BYU-BNC and Shogakukan Corpus Network. The present study has outlined different kinds of problems pointed out in the previous studies and made clear new problems which could be seen in the three online tools. As for BNC, it has originally mis-tagging defects, which has been discussed in depth by comparing the three online tools. As a result, I will write a paper to appear in Kenkyuu Kiyoo in August in 2013. Furthermore, scrutinizing BNCWeb has made me study the passive verb constructions with a raised subject and the paper is to appear in a monograph "English Corpus Research series" vol.4 in 2013.

4. おもな発表論文等（予定を含む）

<p>【学術論文】（著者名、論文題目、誌名、査読の有無、巻号、頁、発行年月）</p> <p>新井洋一「コーパス分析ツールの総合研究」『人文研紀要』（中央大学人文科学研究所）査読無 第 号 2013年8月予定</p>
<p>【学会発表】（発表者名、発表題目、学会名、開催地、開催年月）</p>
<p>【図 書】（著者名、出版社名、書名、刊行年）</p> <p>新井洋一「繰り上げ主語受動態構造を認可する動詞のBNC分析」深谷・滝沢(編)『コーパス と英文法・語法』（英語コーパス研究シリーズ第4巻）ひつじ書房 2013年刊行予定</p> <p>新井洋一「オンライン版英英辞書とコーパス研究」堀・赤野（編）『コーパス概論（仮題）』 英語コーパス研究シリーズ第1巻）ひつじ書房 2013年刊行予定</p>
<p>【その他】（知的財産権、ニュースリリース等）</p>